

久米島

2020

4

NO.217
月号



TOPICS

- ・施政方針
- ・久米島紬事業協同組合50周年

人口の推移

令和2年2月末現在

- 男 4,130人
- 女 3,626人
- 計 7,756人
- 世帯 3,979世帯

令和2年度 施政方針



はじめに

令和2年3月定例議会において、令和2年度予算案、諸議案の提案にあたり、町政運営の基本姿勢・主要施策を申し上げ、議員各位及び町民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

我が国の景気は消費税率引き上げや自然災害の影響も加わり、いったん減速したものとみられていますが一時的なものであり基調としては緩やかに拡大しているとみられています。今後も雇用条件や所得環境の改善が続くことが期待されていますが米中貿易摩擦、中東情勢を巡る地政学的リスク、さらには新型コロナウイルスの感染拡大の影響により不確実性も高まっていますとされています。

一方、沖縄県は令和2年3月に第二滑走路が供用開始される那覇空港をアジアのゲートウェイとして位置づけ、各種振興策に取り組んでおります。また、2年後の令和4年に、復帰50年という大きな節目を迎えます。新時代沖縄の到来に向け、アジアのダイナミズムを取り込み、経済全体を活性化させるとともに

に、沖縄らしい優しい社会を構築し、安定的に発展する好循環を創り上げるため、引き続き、島の鼓動、人々の輝き、限りない沖縄の可能性を存分に引き出しつつ、誇りある豊かな沖縄の実現に向け取り組んでおり、現在進めている沖縄21世紀ビジョン基本計画の総点検結果や新沖縄発展戦略を踏まえながら、市町村、経済団体、県民の皆様から広く意見を伺い、新たな振興計画の策定に向けた取り組みを加速させております。また、今年度から本格的に取組を開始したエス・ディー・ジーズ（SDGs）については、沖縄21世紀ビジョンに掲げる将来像の実現とともに、沖縄の実情に合った、「誰一人取り残さない沖縄らしいエス・ディー・ジーズ」を推進し、国際社会が目指す持続可能な社会の構築にも貢献できるように、全県的に取組を進めていくこととしております。

本町においては、世界的な脅威となっている新型コロナウイルスや県内で発生した豚熱（CSF）への対策など町民の生命・財産・経済へ悪影響を及ぼす予測困難なリスクに係る関係機関と連携して対応してまいります。このように目まぐるしく変わる内外の情勢において、久米島町は

依然として人口減少に歯止めがかからず地域活力の低下が危惧されています。人口減少対策は長期的視点で取り組む課題でありますが現状、町内にある空き家の利活用促進を含めて移住定住ができる体制を強化してまいります。また、子育てしやすい環境整備の推進や新たな産業と雇用の場を創出するため、国及び県の関連部局と連携を密にしながら海洋深層水などの自然資源を活用したまちづくり施策「久米島モデル」実現に向けて引き続き取り組んでまいります。本施策については沖縄県や令和12年に向け世界が合意した「持続可能な開発目標 エス・ディー・ジーズ」にも合致していることから国内外からの注目度も高く、産業視察観光等にも大きく貢献しており、施策推進の一部を担う「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」についても態勢をさらに強化してまいります。

除防対策事業等によりさとうきびの振興を図ってまいります。甘しょについては、平成27年3月に沖縄県知事から拠点産地の認定を受けたことにより、生産拡大につながり、平成29年度より生産量が県内1位となっております。また、加工施設の稼働により更なる生産振興を図るとともに「甘しょ優良種苗普及事業」で優良種苗を確保し、農家への普及と生産拡大を図ります。さらに、イモゾウムシの早期根絶を目指して薬剤の助成を引き続き行つてまいります。また、現在、鹿児島県・宮崎県・沖縄県内で発生している基腐病により、生産量が減少しておりますので沖縄県と連携して対策を講じてまいります。

花卉の振興については、沖縄県花卉園芸農業協同組合と連携し、「産地パワーアップ事業・災害に強い栽培施設事業等」の導入により生産振興を図ってまいります。かぼちゃについては、生産出荷が伸びてきており今後沖縄県の拠点産地認定に向け、生産者と一緒に取り組んでおりますので、久米島町かぼちゃ産地協議会を中心に「産地パワーアップ事業」の導入により生産振興を図ってまいります。

畜産については、全国的に肉用牛取引価格の上昇が続き、生産意欲が高まっています。前年度に引き続き沖縄県の「畜産担い手育成事業」により畜舎、草地等の整備を行い、また「優良雌牛導入事業」により母牛の増頭及び品質向上に取り組んでまいります。町単独事業として「繁殖雌牛共済掛金助成事業」「優良雌牛自家保留支援事業」などにより、引き続きJA及び生産者と一体となって畜産振興に取り組んでまいります。

昨年より全ての農産物を対象に「収入保険制度」が始まりました。収入保険制度は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補償する仕組みです。町としても、関係機関と連携して周知に取り組んでまいります。

(2) 水産業の振興

水産物加工処理施設及び海業支援施設において、マグロやモズク、車エビを中心とした水産物の加工品を生産、販売することと、水産業の振興発展、漁業従事者の経営安定と所得向上に取り組んでまいります。さらに、観光産業と連携を強化し、相乗効果を創出していくことで、久

米島町の水産業の活性化を図ってまいります。

商工・観光産業の活性化 (1) 商工業の振興

商工業の振興については、久米島商工会との連携のもと、町内各企業および事業所の成長・発展に資する施策の実施、支援に取り組みます。本町には多様な資源や素材が豊富にあり、町内各企業・事業所の努力により地域特産品として生産、販売されています。しかしながら地域内消費に限られるため、企業および事業所の経営安定には、新規顧客の獲得、消費拡大が最重要と捉え、販路拡大・開拓支援を重点的に取り組んでおり、成果として物産展での新規顧客獲得も着実に感じられます。令和2年度におきましても、久米島特産品販路開拓事業等により、商工業の経営安定に必要な不可欠な販路拡大・開拓支援に引き続き取り組んでまいります。

また、近年全国的に顕在化している人材確保や人手不足といった経営を支える課題に本町でも直面しており、雇用環境の改善が急務と捉えております。久米島商工会等経済5団体と連携を図りながら、雇用確保対策や

農林水産業の活性化

農業については、農業従事者の高齢化に伴い、さとうきび等で担い手不足の問題など経営が大変厳しい状況にあります。現状を打開するためには、国の農業政策である沖縄県次世代人材投資事業（青年就農給付金事業）の活用により、担い手育成を積極的に進めてまいります。また、農地中間管理事業により、担い

手に農地集積を進めていくと同時に栽培技術や経営能力の向上など、関係機関との連携強化を図りながら課題解決に取り組んでまいります。さらに、地域で生産された農産物を加工し、付加価値を付けて販売する6次産業化に積極的に取り組み地域の活性化に努めてまいります。水産業については、農業と並ぶ島の基幹産業であり第2次久米島町総合計画基本構想に基づき、連携する産業づくり及び、多面的な漁業の振興を推進するとともに、久米島モデルにおける海洋深層水を活用した栽培漁業の振興、拡大を図ってまいります。

(1) 農業の振興

さとうきびの振興については、3期連続で5万トン以上の生産量になり、今後も「さとうきび農業機械等リース支援事業」によりハーベスター及び株出管理作業機械を導入し、刈り取り作業及び肥培管理作業の機械化を推進します。さらに「さとうきび優良種苗安定確保事業」により、優良種苗の確保及び農家への普及を図ります。また、町単独事業により、さとうきび振興協議会の支援、干ばつ・灌水対策事業、さとうきび共済掛金助成事業、さとうきび病害虫総合

防除対策事業等によりさとうきびの振興を図ってまいります。甘しょについては、平成27年3月に沖縄県知事から拠点産地の認定を受けたことにより、生産拡大につながり、平成29年度より生産量が県内1位となっております。また、加工施設の稼働により更なる生産振興を図るとともに「甘しょ優良種苗普及事業」で優良種苗を確保し、農家への普及と生産拡大を図ります。さらに、イモゾウムシの早期根絶を目指して薬剤の助成を引き続き行つてまいります。また、現在、鹿児島県・宮崎県・沖縄県内で発生している基腐病により、生産量が減少しておりますので沖縄県と連携して対策を講じてまいります。

雇用環境改善に取り組んでまいります。

久米島紬の振興については、中核団体である久米島紬事業協同組合が創立50周年の節目を迎え、今後の更なる飛躍が期待されますが、周年事業として取り組んだ施設環境整備や素材確保整備へ支援を行いました。今後についても、久米島紬事業協同組合と連携しながら久米島紬の伝統的な技法を継承する後継者の育成をはじめ、国指定重要無形文化財のブランドの維持を図りつつ、販路拡大・販売促進等の支援を行い、久米島紬の継承・発展に努めてまいります。

(2) 観光産業の振興

観光産業の振興については、「第2次久米島町観光振興基本計画」が2年目を迎えます。計画1年目は、重点項目である「観光意識の醸成」「観光人材育成」「インバウンド対応の強化」や、基本項目である「スポーツツーリズムの推進」「安心・安全な観光地の実現」「地域の観光関連団体の組織づくり・仕組みづくり」等の施策について、推進幹事を中心に実施、着手しました。計画の管理・推進を担う委員会やワーキングにおいて、計画1年目の振り返りや評価・点検・改

の充実に努めてまいります。

教職員の長時間勤務の実態から、これまでの働き方を見直し、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として国や県が推進している「学校における働き方改革」については、「久米島町教職員の働き方改革推進計画」を策定し、夏休み期間中の学校閉庁日やリフレッシュウィークの設定及び校務支援システムの導入等を図り、勤務環境を整え教職員の業務負担の軽減に努めてまいります。

幼稚園については、仲里幼稚園と清水幼稚園の2園の園児の状況等に応じた教諭体制で保育面や安全面のさらなる充実を図ります。また、預かり保育については、仲里幼稚園、清水幼稚園において、これまで通り安全で充実した保育に努めてまいります。

(2) 生涯学習の振興

生涯学習の充実を図るため、ヤングフェスティバルや新春書道展、また各種講座・体験活動事業等を展開し、幼児から高齢者に至るまで町民が生き生きと学習活動ができるよう支援してまいります。

また、昨年より建設中の複合

善を行い、観光振興計画の施策実施による観光産業の振興に努めてまいります。また、観光産業を中核とした地域経営組織として設立に取り組んでいる「久米島版DMO」が候補法人として国から認定を受けました。候補申請に向け組織された「久米島版DMO推進協議会」が実施する事業へ支援を行い、早期の日本版DMOとしての国への登録を目指し、同組織を活用した地域経営、「チーム久米島」による産業振興実現に取り組んでまいります。

(3) 交通の確保

離島を結ぶ航路は、住民や交流人口にとって重要な交通手段であり、物流、観光及び産業活動に欠くことのできない大きな役割を果たしています。

航空路線については利用度の高い交通手段であり、定期路線の維持・確保及びジェット便の増便等、輸送体制の拡充、利便性の向上等について取り組んでまいります。

航路については、昨年7月より新造船が就航し、島民をはじめ利用者への快適性や運行時間の短縮による利便性の向上が図られました。住民や交流人口にとって重要な交通手段として、維

持・確保に努めてまいります。

また、航空路における交流人口等向け運賃および航路における物流コストの軽減については、事業者との意見交換や要請等により、引き続き取り組んでまいります。

町営バスについては、町民の通学・通勤・買物・通院など重要な生活交通路線であるとともに、島を訪れる観光客等にとっても欠かせない交通手段として重要な役割を担っております。地域環境の変化や利用者ニーズの多様化等も踏まえ、運行形態やダイヤの検証を行っており、バス停環境改善も含め、着実に取り組まながら、安全かつ定時運行に努めてまいります。さらに75歳以上の高齢者および社会復帰のため施設通所する町民を対象に、運賃無料化を継続し、外出支援に取り組んでまいります。

教育・文化の充実

(1) 学校教育の充実

学校教育に求められるのは、変動の激しい21世紀を力強く、逞しく生き抜く「生きる力」を全ての子ども達に育むことにあります。「生きる力」を育むとは、

まいります。

(3) 文化の振興

文化振興については、町民が文化活動に親しめるよう文化協会と連携を図りながら、関連行事の活性化を促し文化活動の充実発展に努めてまいります。

文化財については、災害により一部崩落した宇江城城跡、具志川城跡石垣の積み直しを優先し、整備を進めつつ指定文化財の整備・修復を計画的に行い、学習教材や観光資源としての保存活用を図ります。また、博物館の管理運営においては、収蔵資料の保存管理を始め、企画展、講座、各種教室等の開催により歴史・文化に関する情報の発信にも努めてまいります。

町史編集事業においては、刊行計画のもとに久米島町史資料編1「久米島の戦争記録」の発刊を予定しております。

ホテル館の運営については指定管理に移行する予定で作業を進めています。これまで同様に飼育展示を通してクメジマポータルを取り巻く自然環境への理解を深めるとともに、希少種等の保護調査や児童生徒の環境学習の場として、また観光客に対する自然学習施設としても効果的な利活用を図ってまいります。

「知・徳・体」調和のとれた子ども育成だと考えます。その中でも教育委員会では、本町の教育の大きな課題である「学力の向上」を基軸として、子ども達一人一人に確かな学力を身に付ける取り組みを推進します。

令和2年度から順次完全実施される新学習指導要領では現在の子どもたちが社会人となる令和12年を念頭に置き「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

本町では教育理念を「幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む」に島に誇りを持ち、心に夢を持つる幼児児童生徒の育成を掲げ教育に取り組んでまいりました。これまで教師の授業改善に取り組んできた結果、本町の児童生徒の学力は着実に伸びてきました。全国学力・学習状況調査において小学校では教科総合で全国を上回り、中学校でもほぼ全国並の結果を得ました。今後もこの結果を維持できるよう、引き続き授業改善に取り組んでまいります。それに加えて、将来に夢を持ち主体的に学べる児童生徒を育成できるよう各学校の特色を生かした取組を支援してまいります。

(4) 学校給食

学校給食は、教育活動の一環として位置付けられ、バランスの取れた豊かな食事を通して、児童生徒の健康増進、体位の向上及び正しい食習慣を図るとともに食事をすることで相互間の心のふれあい、好ましい人間関係の育成の場として、社会性を養うことなどをねらいとして、取り組んでいるところです。引き続き、学校給食の目的、目標、役割が周知できるよう積極的に食育に取り組んでいくとともに「安心・安全・美味しい給食」の提供に努めてまいります。また、

地産地消の拡大に向けて関係機関と連携を図りながら、地元産の食材を学校給食に活用できるよう取り組んでまいります。現在、老朽化している学校給食センターにつきましては、安全性の高い学校給食を提供できるよう、最新の衛生管理基準に適合した施設整備とするため、移転建て替え事業を推進してまいります。

(5) 久米島高校魅力化

島唯一の高校である久米島高校は人口減少などに伴う定員割れにより、沖縄県教育委員会から園芸科の廢科案が示される

また継続して、基礎学力向上学習支援員を小学校3名、中学校に4名、合計7名配置し、基礎的な学力の定着を図ってまいります。併せて中学校では学習習慣の定着と学習への興味関心を高めることを目的に、放課後自主学習の場「まなびや」を開設し、生徒の意識改善に取り組んでまいります。

さらに、小学校の教科書改訂に伴うデジタル教科書の更新やタブレットなどのICT機器を積極的かつ効果的に活用することなどで学習意欲及び学力の向上を図ります。併せて、学習用情報機器の更新を計画的に実施し、引き続き学力向上に資するICT利用環境の整備を進めてまいります。

教育活動の中では、人、自然、伝統文化など、地域の豊かな教育資源を活用することや、学校・家庭地域・産業界が連携したキャリア教育を推進することにより、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りと愛着を持てる子ども達の育成に努めてまいります。

学校施設の整備については、耐震診断結果を踏まえ基準に満たない学校施設の耐震補強計画と併せて学校施設等長寿命化計画を策定して、安全な教育環境など、将来的に高校の存続自体が危惧される状況が続いています。高校の存続問題は町の子育て、人材育成の環境のみならず、人口減少にも拍車がかかり、経済全体に悪影響を及ぼす課題であることから、久米島高校と連携を密にしながら高校魅力化事業を推進してまいります。

現在、魅力化事業の一つとして、島外から留学生を受け入れていますが、離島留学生の受け入れは、地元の生徒も良い刺激を受けており、国公立及び難関私立大学合格を含めて進学率が向上するなどの相乗効果が出ています。その効果をさらに高めるため、じんぶん館内に設置の町営塾「久米島学習センター」を、本年度完成予定の複合型防災・地域交流拠点施設へ移設します。

また、英語でのコミュニケーション能力の向上と国際理解、異文化経験を通してグローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的に姉妹提携先のハワイ郡コナワエナ高校と、引き続き交流事業を実施してまいります。

福祉の充実

町民福祉については、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組むとともに食料品や生活必需品など買い物に困っている地域で実施している「移動販売車」による買い物支援についても引き続き取り組んでまいります。また、出産や難病等の治療で沖縄本島の医療機関に通院する場合の経済的負担軽減対策の一環として、長く長期滞在のできる宿泊施設の整備を継続要請するとともに子ども・子育て支援事業計画に基づき、引き続き「安心して子育てができる島の実現」のために、子ども・子育て支援施策を推進してまいります。

(1) 母子保健・児童福祉

保育園については、定員受け皿の確保や待機児童解消を図るために保育士確保が急務でありますが、その確保は難しい状況にあります。保育士の安定的な確保・定着のために、町内の潜在保育士等への呼びかけや待遇面の向上、島外からの保育士確保について、環境整備に努めて

まいります。

就学前及び就学時の子育て支援については、現在、ファミリーサポートセンターの充実や学童クラブの開所に取り組んでいますが、引き続き認定こども園の整備計画についても推進してまいります。また、更なる子育て支援の充実を図るため旧仲里改善センター跡地に幼児から小学生が気軽に安心して遊べる公園整備に取り組んでまいります。

児童福祉については、発達に特性がみられる多動性障害・注意喚起欠陥などの子どもたちを早い段階で専門医や言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などの専門職に診てもらうことにより、社会生活上の困難さを少しでも解消することを目的に昨年度、公立久米島病院に開設された「子ども療育外来」の利用者療養費の一部を助成してまいります。また、児童の虐待の対応としては関係機関の取り組みについて情報交換を行い、児童虐待に関する現状や町の取り組みについても情報共有に努めてまいります。また、専門性の強化を図るため、児童福祉司任用研修をはじめ各種研修会の受講にも努めてまいります。

生活基盤の整備

取り組んでまいります。

ゴミ処理施設については、既存の焼却施設が耐用年数を迎えることから施設の更新に向けて整備計画に取り組んでまいります。

(2) 環境美化・

赤土流出対策

住みよい環境づくりのため、地域住民・ボランティア団体に花の苗を提供するなど活動しやすい環境を整えるとともに花いっぱいコンクールを実施して、緑化推進の意識向上を図ってまいります。町道や公園、観光施設等については、継続して除草や草花を植えて快適な生活環境づくりに取り組んでまいります。

赤土流出対策については、農地からの流出が依然として続いている状況にありますので、久米島赤土流出防止対策協議会で行っている、防止板の設置・グリーンベルトの植え付け・緑肥の播種・心土破碎等による対策及び営農指導による農家の意識改革に取り組みとともに南部保健所など関係機関と連携・協力しながら引き続き監視体制及び防止対策の指導強化に努めてまいります。

(2) 健康づくり

喫煙や多量飲酒、栄養の偏った食事や運動不足等の生活習慣の乱れは、体を徐々に蝕んでいきます。差し迫った危機を乗り越えるためにも、まずは健康状態を知ること、特定健診の受診勧奨及び生活習慣病の重症化予防に向けた取り組みをより一層強化し、受診率60%を目標に早い段階から周知活動に努めてまいります。

子ども健診について、実施及び事後経過観察を学校と連携して支援し、健診異常率の改善を図ってまいります。

町民ひとりひとりに合った運動指導・食事指導を行う健康福祉施設トレーニングルーム「SMA P」(スマップ)を中心に、運動習慣の定着を図るため、町内の事業所と連携し内容を充実させ、利用者を増やすよう取り組み、子どもから高齢者まで町民全世代の健康づくりを支援してまいります。

(3) 高齢者福祉

本町でも高齢化率の伸びと共に独居高齢者や夫婦のみの高齢者世帯が増加傾向にあります。また認知症高齢者も増加してき

がら状況に応じて補修や修繕に努めてまいります。

(2) 農業基盤整備

水質保全対策事業の耕土流出防止型においては、比屋定地区・比屋定2期地区、清水第1地区の整備を行ってまいります。さらに、今年度新規採択される清水第2地区については実施設計を予定しております。

農業基盤整備促進事業においては、農道及び排水路などの生産基盤の整備について継続して取り組んでまいります。

農業水利施設保全合理化事業においては、島尻地区の地下埋設型の減圧弁を地上設置型に更新を図り、農業水利施設の維持管理における負担軽減や水管理の省力化及び安全性の向上に取り組みます。

農業基盤整備促進事業や水質保全対策事業及びかんがい排水事業など整備を必要とする地区については、排水路、沈砂池など事業の推進により、農地からの赤土流出の防止を図り海岸の環境保全に繋がります。さらに、新規事業の採択についても積極的に取り組んでまいります。

(3) 漁港の整備

漁港整備については、老朽化

しており、今後増加が見込まれます。多様化する高齢者のニーズに 대응するため、国の基本指針に基づき、地域包括ケアシステムの構築を図りながら認知症対策及び在宅医療・介護連携推進事業及び成年後見制度推進事業に取り組んでまいります。

(4) 障害者福祉

地域における障害のある人の社会参加の機会の確保や、自立した生活が送れるような共生社会の実現が求められています。引き続き「障害者基幹相談支援センター」「就労継続支援(B型)」の各事業所と連携を図り、障害者の自立支援に取り組んでまいります。また、当事者・保護者の高齢化に伴い、既存の障害福祉サービスだけでは支援が満足に行き届かないという問題も抱えております。障害関係事業所だけでなく「社会福祉協議会」「介護事業所」等の関係機関と連携して、これまで以上に地域で支え合い、切れ目のないサービス提供体制の充実を図ってまいります。

(5) 生活困窮者等対策

生活困窮者等や地域の要援護者を早期に把握し、自立・就労に向けた様々な支援サービ

が進む儀間漁港第1防波堤の機能保全対策として、水産物供給基盤機能保全事業を継続し、漁業従事者の安全確保と就労環境の改善を図るため、長期計画に基づき適切な維持管理に努めてまいります。また、儀間・島島漁港の海岸施設の護岸、離岸堤、突堤については、長寿命化計画に基づく背後施設の安全確保を図るため、適切な維持管理に努めてまいります。

(4) 上下水道事業

水道事業については、各施設整備を進めながら管路・配水池の更新に向けて取り組んでまいります。下水道事業については、銭田地区の下水道整備を図るとともに接続率向上に取り組んでまいります。また、上下水道使

(5) 安心・安全な生活環境の推進、公営霊園の新設

火葬から告別式までの一連の葬儀を執り行うことが出来る火葬場と葬斎場を併設した施設が整備されました。今後も、施設の適正な管理運営に取り組み、安心して生活環境の整備を推

スを社会福祉協議会と連携し、総合的・一体的に提供してまいります。

環境保全と地域美化

久米島の豊かな自然環境の保全に努めるとともに、アーク岳キタザトサワヘビ生息保護区として新規指定に関係機関と連携し取り組んでまいります。また、快適で潤いのある生活環境の整備を推進してまいります。

(1) ゴミ対策

ゴミのない島づくりのためには住民の意識改革が最も必要ですので、ゴミの分け方、出し方に対する住民意識の啓発やリサイクルシステムの構築を図ってまいります。また、ポイ捨てや不法投棄は依然として見受けられ、特に廃家電製品の投棄が目立つ状況にあります。不法投棄に関しましては、引き続き監視員を配置し監視を強化するとともに行政、区長会、警察が連携して不法投棄防止に努めてまいります。

漂着ゴミは、ボランティアによる除去活動を推進するとともに、沖縄県海岸漂着物等地域対策推進事業を活用し漂着物を回収、調査、環境教育活動に向け

進んでまいります。また、久米島町霊園整備基本計画に基づき、多様なニーズや利用しやすくかつ質の高い施設整備に配慮した、町営霊園整備永代供養型納骨堂の建設を推進してまいります。

犬猫対策について、登録促進及び狂犬病集団予防注射の接種率の向上に取り組んでまいります。猫については、フン被害が社会問題になっており引き続き、去勢・避妊手術を社団法人日本動物福祉協会の協力の下、婦人会・ボランティア団体等と連携し取り組んでまいります。

情報通信基盤利活用の推進

情報通信技術の進歩により島の地理的特性・課題の一つである情報活用環境は改善されつつあります。ICTを活用した教育環境の整備及び働き方改革につながるテレワーク等の環境整備を関係機関と連携して引き続き推進してまいります。

再生可能エネルギーの普及・啓発

海洋温度差発電の実用化に向けての環境づくりに注力す

夢つむぐ島

～島人みんなで織り上げる未来～

第2次久米島町総合計画

シリーズ5. 「暮らす」世代のために

<島の現状と施策の方向性>

第2次久米島町総合計画は「すべての世代が生き活きと暮らせる島」を目指しています。すべての世代が生き活きとした暮らしの基盤には“健康”でなくてはなりません。

しかし、久米島町民の健康状態はあまり良くありません。2019年度の特定健診(国保40歳以上75歳未満)では、町民の脂質の値は沖縄県内でワースト9位、半数以上の方がメタボとメタボの予備軍となっています。また近年では、60歳前後の突然死や生活習慣病に起因する死亡者が増えており、今後ますます深刻化する可能性があります。そのような中、町役場ではさまざまな角度から町民の健康を応援する「久米島健康プロジェクト」を行っています。健康教室、ラジオ、広報誌などで健康づくりを呼びかけ、バランスの良い食事や運動、禁煙、健診受診等を呼びかけ、実践する機会を提供しています。

住環境は、美しい自然に恵まれ、適度なインフラ整備もされた恵まれた環境です。しかし、ゴミのポイ捨てや不法投棄が後を絶たず、平成29年度の家ゴミ排出量も1人1日当たり約1,397gとなっており、沖縄県の868gを大きく上回る数字となっています。水道の給水普及率は99.5%(2019年)となっており、一部集落では湧水を利用できる自然環境が残っています。町では平成24年(2012年)に景観計画を策定し、翌年に景観条例が施行されています。自然景観、集落景観、シンボル景観など様々な角度から美しく快適な久米島を守るためのルールが提示され、官民一体となってこの計画を実現することは、町民の暮らしの快適さを向上するとともに、島外からの観光客や移住者の呼び込みにもつながります。

町民の暮らしを支える社会福祉(この項目では主に成人に対する福祉)もますます重要になっています。久米島町の生活保護受給者の割合は年々高まっており、平成19年度(2007年)には9.17%であった生活保護割合は、平成29年度(2017年)には15.08%となっております。その背景には、単に経済不況という事情以外に、アルコール依存による就労意欲の低下や、生活習慣病をきっかけとしたうつ病など、健康状態と深刻に絡み合った問題があります。また、一般に島内での障がい者への理解が遅れている部分があり、障がい者自身や障がい者を身内に持つ家族が社会生活をしづらい側面があります。理解促進と共に、さまざまな人が共に暮らせる意識の醸成が必要です。

<計画に位置づけられた事業の成果や課題など>

●健康プロジェクト推進事業(福祉課)

事業内容	町民全体の健康増進を図るため、スマートプロジェクトの実施及び町民が利用するバーデハウス久米島の施設利用料の一部を支援など、健康づくりの機運を高める施策を展開しています。	
成果目標	特定健診受診率	基準値 H29年 39.2% ⇒ R1年 51.5% (12.3%増)
事業効果	町民利用者数が増えることにより健康的な生活への意識が高まることが期待できます。	
改善点又は今後の取組方針	平成26年度に導入したトレーニングルーム(SMAP)の運動設備(ランニングマシン、エアロバイク、体組成計等電子機器)の耐用年数(5年)の期間を考慮し、計画的な機器購入を行う必要があります。	

●クリーンセンター運営事業(環境保全課)

事業内容	もえるごみは久米島クリーンセンターにおいて全て焼却処理し、しげんごみ、そだいごみ及びもえないごみは久米島リサイクルセンターにて破碎、選別等の処理を経て、資源化を行っています。焼却処理後の焼却残渣と不燃性残渣、もえないごみの一部は久米島リサイクルセンターの最終処分場で埋立て処分を行っています。	
成果目標	ごみの減量化 (1人1日当たりごみ排出量)	基準値 H29年度 1,397グラム ⇒ H30年度 1,331グラム (4.7%減)
事業効果	ごみ排出量の推移としては、収集ごみが減少傾向にあります。	
改善点又は今後の取組方針	平成29年度に比べ1人1日当たりのごみ排出量は若干減少したものの、沖縄県の平均に比べて1.5倍程度もあり、ごみ排出量の削減に向けて、町民による意識が向上するよう、引き続き取り組んでいきます。	

各種災害への予防及び被害の軽減に努め、町民の生命・身体・財産を守るため日々の訓練を積み重ね消防力の充実・強化に取り組んでまいります。

また、久米島町地域防災計画及び職員初動マニュアルに明記された組織体制を踏まえて、災害対策上の役割分担と災害対策本部業務分掌を明確にし、初動対応の流れをより実効性のあるものとしします。

消防・防災

とともに、太陽光発電設備を公共施設の屋根などに導入する取組みを推進し、町内の再生可能エネルギー自給率の向上に努めてまいります。また、化石燃料を大量消費する自動車についても再生可能エネルギーを動力源とする電気自動車や超小型電気自動車など、次世代モビリティの導入推進に取り組みを行う自治体と連携して推進してまいります。

(1) 消防体制強化

複雑多様化する災害に対応するため消防学校等への消防職員、団員の研修訓練を実施するとともに、今後東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフ地震等、大規模災害に備え、緊急消防援助隊の訓練や各種訓練に参加し、久米島町における大規模災害発生時の受援、応援体制を確立してまいります。

(2) 救急業務

救急業務については、救命率の向上、傷病者の負担軽減など質の高い救急医療を住民に提供するため、計画的に病院実習や追加講習を実施し、救急隊員の技術向上に取り組んでまいります。

また、応急手当の普及活動においても、過去に住民によるAEDを活用しての応急救置を施した救命効果事例がありました。本年度も引き続き、町民及び事業所などへ応急手当普及啓発を推進してまいります。

(3) 火災予防

住宅火災による死傷者等を未然に防ぐ目的で、設置指導を行

っている住宅用火災警報器の設置率の向上及び適切な維持管理を推進してまいります。また、ホテル、民宿等の防火対象物が安心・安全に利用できるよう立ち入査を強化し、違反是正の強化を図ってまいります。

(4) 地域防災

地域の防災力を高めるために、消防団や自主防災組織及び女性消防クラブの育成強化を図り「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、社会環境の変化に即した消防防災体制の充実強化を図りながら災害に強い町づくりに取り組んでまいります。

(5) 防災体制の強化

昨年度も日本各地で数多くの自然災害が発生しており、さまざまな規模の災害に対して迅速・適切に対応できるような体制の強化を進めてまいります。

災害に強いまちづくりを目指して、防災行政無線のデジタル化、防災情報システムの構築など災害情報の収集・発信体制の充実を図るとともに、外国人への災害情報発信に取り組んでまいります。また、災害対応資機材の備蓄や避難施設の機能強化、関係機関と連携し災害時に

一般会計	7,901,517千円
国民健康保険特別会計	969,923千円
後期高齢者医療特別会計	82,465千円
下水道事業特別会計	277,218千円
上水道事業	288,363千円
総 額	9,519,486千円

備えた物資等の供給体制強化についても引き続き取り組んでまいります。

よって、令和2年度予算案の総額は次のとおりであります。

以上、令和2年度の町政運営にあたり、私の所信について申し上げてまいりました。「人口減少」に歯止めをかけるという大きな課題と向き合いながら、そこに暮らす「すべての世代が生き生きと暮らせる島」「町民が安心して暮らし続けられる島」を

目標にし、町民一人一人がともに知恵を出し合い協力し合いながら行う協働のまちづくり「夢つむぐ島」の実現に向けて取り組んでまいりますので、町民の皆様と議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



50年 過去に敬意を払い 現在皆様へ感謝し 未来への道標

久米島袖事業協同組合

久米島袖事業協同組合創立50周年

久米島袖事業協同組合は昭和45年に設立し、50周年を迎えました。同組合の松元理事長は記念式典のなかで、「過去の先人たちに感謝し、現在は久米島袖を支えてくれる皆様へ感謝し、未来へ継承の道標を」と述べており、「過去・現在・未来」は2月14日から3月1日久米島博物館にて行われた久米島袖展のテーマとなっていました。展示品は伝統的な柄やアレンジした新鮮なデザインもあり大変素晴らしい作品が展示されていました。また、袖フェアでは真謝のユイマール館を開放し、多くの方が来場し賑わいをみせておりました。

久米島袖のあゆみ

琉球王国時代、中国との交易の中継地であった久米島に養蚕技術が持ち込まれ、染色織物生産が盛んに行われたのは500年以上も前のことです。緋の源流とも言われ、上質な絹織物である久米島袖は琉球王朝そして江戸時代で買納布として取り扱われていました。明治以降は産業化に成功し、年4万反生産していましたが戦後は年4千反に落ち込み、現在は年300反ほどです。

久米島袖の特徴は真綿づくり、図案、緋づくり、染色、織りの工程を手作業で行うことです。その技術の高さと徹底した品質管理、後継者育成活動が評価され、平成16年には国指定重要無形文化財、重要無形文化財保持団体に認定されています。

糸ってどうやってつくるの？



横糸は蚕の繭を重曹でたっぷり煮込み何十枚も重ねて作る



次に、糸引きで糸を引き出しながら均一に束ねていく



縦糸は60度のお湯で煮た繭から数本糸を束ねながら巻いていく



～糸遊び～
糸を結んでミサンガやタッセルピアスにしても楽しい



創立記念式典 織り手や問屋など81名表彰



久米島袖展の様子



久米島袖フェア 無料着付け体験と散策の様子

講演会を開催しました！

本間先生を呼ぼうの会

久米島町の中高校生10人が自主的に企画し、2月15日(土)、16日(日)に「次世代の学び」について考える講演会を開催しました。本間正人先生(京都造形芸術大学 副学長)を講師にお招きし、一日目は、「これからの時代、何を学び、どう生きるか」をテーマに、二日目は、「英語の楽しい学び方」をテーマにご講演いただきました。この2日間、本間先生のユーモアあふれるお話と初対面の人でも仲良くなれるグループワークを取り入れた講演会に、参加者からは「(学ぶことに対し)ポジティブな印象が変わった」「また、久米島に呼んでほしい」などという声がありました。第二回の講演会も現在企画中です。ご期待ください！



さとうきびの恩人に感謝を込めて

字大原 坂井さんまつり

坂井了爾さんの命日である2月10日、字大原にてお墓参りならびに供養祭が行われました。坂井さんは明治時代、字大原開墾と久米島の糖業に大きく貢献されました。現在も続いている久米島の糖業は坂井さんの献身的な指導があったからこそといっても過言はありません。JAおきなわ久米島支店の松元支店長は「坂井さんまつりを通して、さとうきび信仰につながっていると感じる。開催できたことをめでたく思う」と述べました。また、久米島製糖(株)松本課長より、「久米島町のさとうきびの糖度は平均を上回る14.9度で県内トップクラス」と報告がありました。



税に関する絵はがきコンクール

久米島児童5名入賞

2月17日(月)、第11回税に関する絵はがきコンクールに町内児童5名が入賞し、大田町長、吉野教育長へ報告いたしました。今回は126名の応募があった中から11名が入賞し、その内5名が町内児童が入賞しました。入賞内容は下記のとおりです。

北那覇税務署長賞に赤嶺梨寿夢さん(大岳小)、北那覇法人会会長賞に山川大空さん(大岳小)、大田町長賞に長峯彩心さん(清水小)、吉野教育長に高江洲美来さん(久米島小)、久米島支部長に仲与志夢望さん(仲里小)



福祉の活性化を願って社協へ寄附

県建築士事務所協会、県建築士会

2月27日(木)、沖縄県建築士事務所協会野原会長、佐久川専務理事、沖縄県建築士会伊佐副会長が久米島町社会福祉協議会を訪れ、同会で開催したチャリティーゴルフの収益金から20万円を寄附しました。本チャリティーは「沖縄は長寿県であり、社会福祉への支援は必要」と考え平成20年から始まりこれまで多くの会員から賛同を得て今年で38回目を迎えるそうで、久米島町への寄附は初めてとなります。社会福祉協議会太田会長は「ご寄附ありがとうございます。頂いた寄附金は久米島町の福祉へ活用いたします。」と感謝を述べました。



空家等対策利活用計画 を策定しました

目的

・増加している、管理が不十分な空家等の対策のため
・空家等を住まい等へ利活用し、移住定住を促進するため

期間

令和2年度～
令和7年度まで

空家等とは

通常、居住やその他の使用がなされていない建築物やその敷地

特定空家とは

空家等のうち、放置すれば倒壊等著しく保安上危険なものまたは衛生上有害となる恐れのあるもの、著しく景観を損なっているものなど。

町内の空家等の実態 計画の策定にあたり、町内の空家等の実態を把握するため、外観目視による空家等実態調査を実施しました。

空家等のランク	空家等の件数	具体的内容
A	11件	損傷等もなく、大きな修繕なしで利活用可能
B	67件	一部に損傷等がみられるが、小規模な修繕で利活用可能
C	57件	主体構造部以外に著しい損傷があるか、複数個所に損傷がみられ、中～大規模な修繕が必要
D	20件	主体構造部もしくは複数個所に著しい損傷がみられ、大規模な修繕や除去等が必要
合計	155件	

空家等に対する施策

(1) 空家等の発生の予防

- ・所有者等及び住民の意識醸成
- ・島内に居住していない所有者等への相談対応
- ・単身高齢者世帯や高齢者世帯の住まいの状況把握
- ・空家等の発生を抑制するための特例措置の周知

(2) 流通促進・活用支援

- ・空家等利活用相談会・セミナーの実施
- ・霊園整備計画の推進
- ・移住定住施策と連動した取り組み
- ・空き家バンク利活用促進



移住定住相談員「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」が利活用希望のある空家の所有者からの情報を収集しており、「空き家バンク」として空家の利用希望者とのマッチングを行っています。

(3) 適正管理の推進

空家等の管理に責任のある所有者等の意識を向上し、町は相談対応や情報提供等の環境整備を行い、自主的な管理を促進します。

(4) 特定空家等に対する措置

適切な管理が行われず地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしている「特定空家等」には、地域住民の生命、身体、財産の保護を図り、また、健康で健全な生活環境の保全を図るため、必要な措置を講じます。

(5) 推進体制の整備

今後も空家等対策を協議するための協議会等の組織の設置し、外部の有識者等と協議しながら空家等対策に具体的に取り組んでいきます。

詳しくは町のHPが企画財政課まで！
お問合せ 企画財政課 ☎985-7122

賃貸以外の空家活用方法①

皆さんこんにちは。島コンの矢島です！久米島に移住してきて2度目の春です。今回は「仏壇のある空き家の活用方法」の1つの案についてお話ししたいと思います。それは「移住体験住宅」です。島コンの仕事を通して、久米島に移住したいという方がこんなにも居るのかと感じました。そんな中、令和元年度に移住体験ツアー(泊3日)を3回開催して感じたことは、体験と銘打ちながらも限られた久米島しか体験してもらっていないなという事です。(でも、1回開催につき1組が移住決定しており、成果は感じています。)そこで、1週間から1ヶ月間久米島に住んでもらい、様々な経験をしてもらったり、どんな人かを住民が知ったりする場があればと考えました。また空き家の貸主にとっても次のようなメリットがあげられます。

- ◆旧正月やお盆など、仏壇行事のある月を除いて貸すことができる。
- ◆使用しているのが、家が傷みにくい。
- ◆賃料収入になる。
- ◆日常の管理や入居・退去の煩わしさから解放される。
- ◆最初から期間が決まっているので、退去の申し入れもなくていい。等

まだ漠然としています。そんな「移住体験住宅」の管理ができたらいいなと考えています。移住体験住宅にご興味のある方は、ぜひ島コンにご連絡ください。次回以降もその他の活用方法についてお話できればと思います。

日程： 4月11日(土)、4月25日(土) 10時～16時 場所：仲原家(真謝20番地)
お問い合わせ ☎894-6488 info@shimagurashi.net
※予約なしでも大丈夫ですが、予約いただくと確実です。



消防だより

令和2年4月号

「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」を2019年度全国統一防火標語とし、令和2年3月1日(日)～7日(土)までの間、春季全国火災予防運動を実施しました。



令和2年 春季全国火災予防運動実施



火災予防運動期間中は、一日消防長による特別点検や防火対象物・危険物施設立入査察などの行事が行われました。



各事業所をまわり立入検査を行う一日消防長と消防職員



一日消防長に任命された 上江洲 幹子さん

住宅用火災警報器の義務化について!

- なぜ「住宅用火災警報器」が必要なのか?**
 - ・火災の発生に気づくのが遅れ、「逃げ遅れ」によって多くの方が亡くなっています。
 - ・火災の発生時間は、22時から翌朝6時までの就寝時間帯に多く発生しています。
 - ・9割が住宅火災で亡くなっています。
 - ・6割が65歳以上の高齢者です。
- 住宅用火災警報器の種類は?**
 - 煙式 煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声で知らせます。
 - 熱式 住宅用火災警報器の周囲温度が一定の温度に達すると音や音声で知らせます。
- どこに取り付けるのか?**

住宅用火災警報器は原則として、寝室と寝室がある階段には、必ず設置しなければなりません。取り付け方法も定められていますのでイラストを参考にしてください。
- どこに行けば買えるのか?**

住宅用火災警報器は、消火器などとともにホームセンター、家電販売店、消防設備業者などでも取り扱われ購入することができます。
- 設置後はどうするの?**

定期的に点検を!
⇒設置されていても、住宅用火災警報器等が正常に機能しなくては意味がありません。

 - ・音声や警報機が鳴るかどうかが点検しましょう。
 - ・点検方法は、本体のヒモを引くものや、ボタンを押して点検するものなどがあります。
 - ・電池交換を忘れずに!電池タイプは、電池交換が必要です。音声やランプブザーなどで交換時期を知らせてくれますので、交換を忘れないようにしましょう。



【 警報器・消火器の悪質な訪問販売、点検にご注意 】

○消防署では住宅用火災警報器・消火器の販売は行っていません。

- ※火災の早期発見と「逃げ遅れ」を防ぐために住宅用火災警報器を設置しましょう。
- 住宅用火災警報器の交換の目安は10年です。定期的に作動の確認をしましょう。
- 消防法及び久米島町火災予防条例により、すべての住宅に火災警報器の設置が義務づけられました。
- ※火入れを行う場合は、必ず消防本部まで連絡するようお願いします。
- ※火事・救急・救助は119番へお願いします。

令和2年2月出動状況 ()は、令和2年累計

・救 急	32件 (77件)	・風水害	0件 (0件)
・火 災	0件 (1件)	・捜 索	0件 (0件)
・救 助	0件 (0件)	・その他	0件 (0件)

合計…………… 32件 (78件)



第18回ヤングフェスティバル

久米島町ヤングフェスティバルが2月16日、具志川改善センターで行われ、13演目に140名が参加し、琉球舞踊・民謡、ダンス、ピアノ、エイサー太鼓など日頃取り組んでいる練習の成果を発表しました。会場には保護者や地域の皆さんら約400名が来場し、出演者に激励の拍手を送りました。日頃から学校地域などでスポーツや学業、文化やボランティア活動で活躍する児童生徒表彰が行われたほか、今年度創設された「久米島ギネス」に、仲里小学校3年の富永悠宇さんが第1号に認定されました。「久米島ギネス」とは子ども達がふるさと久米島に愛着と誇りを持つことを目的に創設され、久米島に関することを調べ、体験したことをまとめたものの中から、優秀な作品を「久米島ギネス」として認定しました。



久米島ギネス第1号の
富永悠宇さん

「久米島ギネス」とは子ども達がふるさと久米島に愛着と誇りを持つことを目的に創設され、久米島に関することを調べ、体験したことをまとめたものの中から、優秀な作品を「久米島ギネス」として認定しました。

令和元年度「わたしたちの暮らしとエネルギーかべ新聞コンテスト」大岳小3位受賞

経済産業省資源エネルギー庁主催の2019年度「わたしたちの暮らしとエネルギーかべ新聞コンテスト」に大岳小学校4年生5人が作成した「久米島が語るサトウキビのひみつ」が全国3位に当たる「日本エネルギー環境教育学会特別賞」を受賞しました。5人は久米島の基幹作物であるサトウキビが持つ2つのエネルギーのひみつについて調査し、「バカス」を燃やしたエネルギーを再利用し、発電することを新聞にまとめました。新型コロナウイルスの影響で、表彰式が中止となりましたが受賞の連絡を受けた児童らはとても嬉しそうな表情を見せていました。



久米島の中学生へ激励のお菓子寄贈

「真喜志菓子店」(字仲泊)の真喜志康順さんが3月6日、町内中学校全生徒へ黒糖蜜たっぷりの「五角たんなふあーくる〜」を寄贈しました。「奥武島の畳石」の形に似た五角形を「合格」に例え、無事志望校へ合格して欲しいとの思いから、12年ほど前から毎年行っています。各中学校へ真喜志さんの「志望校に無事合格して欲しい」との思いを詰めた「五角たんなふあーくる〜」を手渡ししました。



新潟の生活を体験 第58回なかさと交流会

町内小学校5年生12名が新潟県十日町中里地区を訪問し、「第58回なかさと交流会(冬の交流)」が行われました。

1月23日~1月26日の日程で交流児童の家庭にホームステイをして過ごし、久米島と異なる気候風土や生活習慣を体験し、田沢小学校、貝野小学校との学校交流も行われました。今回は、記録的な暖冬で雪が降る様子を見られませんでした。無事スキー体験をすることができました。

2月12日に「報告会」を開催し、交流児童が十日町市での体験や経験したことを保護者や学校関係者らへ報告しました。



美崎小学校
たましろ やまおか
玉城大飛

十日町に行って感じた事は、久米島との気候の違いについてです。暖冬の影響で雪が少なかったけど、スキー場には沢山の雪が積もっていて、人生初スキーを体験できてとてもうれしかったです。



美崎小学校
たましろ こうのしん
玉城豪之真

なかさと交流で一番楽しかった事は三日目のスキー体験です。初めはうまく滑る事ができなかったけど、交流生のお父さんがわかりやすく教えてくれたので、上手に滑れるようになり、楽しかったです。



美崎小学校
はまもと なつき
浜元夏希

私はなかさと交流会を通して、交流生や久米島の他校の人と友情を深めることができました。また、久米島では体験できないスキーや雪遊び、温泉などが思い出に残りました。短い時間だったけど楽しかったです。



大岳小学校
おしろ しゅんたろう
大城柊人

ぼくが十日町に行って体験して一番の思い出に残ったのは、スキー体験です。頂上までは行けなかったけど平面はすべれたので、みんなでも楽しめました。



大岳小学校
なかち こはる
仲地心春

新潟に行って楽しかった事は、スキー体験です。初めてのスキーで最初は、止まることができなかったけど、練習するとすべって止まることができてうれしかったです。また新潟に行ってみたいです。



久米島小学校
いじま しんのすけ
伊集慎之介

ぼくは、スキーが一番思い出に残りました。なれるまで時間がかかったけどすべる方法を知れたのでよかったです。その後、自分に速くすべる方法を教えてくれたのでうれしかったです。



久米島小学校
たばた このみ
田端心美

一番楽しかった事はスキーです。最初はうまくすべれなかったけど、いっぱい練習してうまくすべれた時は、わたしの中には達成感がありました。また、十日町のみなさんの親切さに感動しました。



清水小学校
うえむら りんか
上里凛華

私は、新潟県十日町市に行って一番印象に残ったことはスキー体験です。すぐにすべれるようになったのでうれしかったです。3泊4日の短い時間だったけどとてもいい思い出になりました。



清水小学校
もとなが ひめみつ
本永妃芽

一番楽しかったことは、スキー体験です。滑った時、最初は転んだけど教えてもらってできるようになりました。また、スキー体験はすべるのはできるけど登るのができなくて苦労しました。



仲里小学校
やましろ けんしん
山城賢慎

雪をさわるのが初めてだったので感激しました。冷たくて、ちょっと固かったです。また、スキー体験はすべるのはできるけど登るのができなくて苦労しました。



仲里小学校
よしなが ひゆめ
吉永蹄

ぼくが心に残っていることはたくさんあります。スキーの体験ではさかてスピードがでてこわかったけど練習してすべれるようになりました。また受け入れ先の家族の気遣いがよくうれしかったです。



仲里小学校
たむら なつき
田村なつき

一番の思い出はホームステイ先の家族と一緒に雪山へ遊びに行った事です。雪山ではスノーモービルに乗ったり、動物の足跡探しをして遊びました。ウサギやキツネの足跡を見つける事ができて楽しかったです。

全国有数の町営塾が久米島高校生と共に成長していく様子をお伝えする記事です。



今月のテーマ **新年度、次の準備はすでに**

春もやや 気色ととのう 月と梅
松尾 芭蕉

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新2・3年生の方々は、進級おめでとうございます。

さて、新しい年度の始まりはドキドキワクワクするものです。新しい環境に胸躍ることと思いますが、まずは体調と自分の気持ちを整えましょう。

4月は、進路のことを改めて見つめなおす時期にもなっています。

なお、久米島学習センターの新3年生の入塾申し込みは、4月末までとなっております。また、新1・2年生の体験入塾・入塾申し込みは年中受け付けております。



SDGs・LGBT 講座



餃子で食育を学ぶ会



ちゅらゼミ



学習センターでは、2月にたくさんのイベントを行いました！今年度もたくさんやっていきますよー！

卒塾式

2月に卒塾式を行いました。2名の琉球大学合格者を含む10名が塾から巣立っていきました。卒業生の皆様、本当におめでとうございます。これからのご活躍をお祈りしています。



退任のお知らせ

新井 直樹 (令和2年3月退任)

3月をもって退任することになりました。久米島に来て間もない頃、子供と大人がお互い信頼しあって話をしている場面を何度も見て、自分が理想とする地域の教育がすでに実現されている島なんだなあと感じたのを覚えています。一度埼玉に帰りますが、久米島は第二の故郷です。これからも久米島の力になれることがあれば積極的に関わっていきます。3年間本当にありがとうございました！



お問い合わせ 勉強に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください！スタッフが丁寧にお答えします！
☎ 070-3802-2739 E-Mail : kumejuku@gmail.com
フェイスブックも更新中 「久米島学習センター」 で検索！

フェイスブック QRコード



第10号 **じんぶん館だより**

旅立ちの季節がやってきました。3じんぶん館 第4期生の卒業報告会の様子をお届けします！



卒業報告会後の集合写真です。持っているのはサクラ型の特製クッキー



キャベツ贈呈式



じんぶんファームで大切に育てたキャベツをお世話になった身元引受人の皆様へプレゼントしました。

卒業報告会は、3年間の離島留学生生活を10人の卒業生が一人ひとりの言葉でスピーチをする場です。この日に向けて、最後の1週間はみんな、夜な夜な原稿を書き直しては直しを繰り返していました。いざ本番、保護者や身元引受人の皆様の前で話し始めると、こみあげてくる想いと涙で寮生が言葉に詰まる場面が何回もありました。島全体で成長を見守っていただいた卒業生たちは、各自の進路に一步踏み出していきます。ハウスマスターの的場と内村も、この3月をもってじんぶん館を卒業させていただくことになりました。2年間、じんぶん館の活動にご理解とご支援いただき、本当にありがとうございました。

卒業生と過ごした濃い2年間を振り返り、私自身多くのことを寮生から学ばせてもらいました。そして、身元引受人の皆様、地域の皆様から寮生に向けられた、たくさんの温かい眼差しとご支援の手に心より感謝しております。この3月をもって、ハウスマスターは卒業させていただきますが、引き続き島外から久米島高校魅力化の応援団としてサポートさせていただきます。これからも離島留学生へのご支援、どうぞよろしくお願い致します。(的場陽子)

ハウスマスターとして生徒達のそばで喜怒哀楽を共にする2年間は、会社員生活10年分に匹敵するくらいの濃い経験、まなびを貰うことが出来ました。生徒達を宝物のように大切に下さった身元引受人や地域の皆様には久米島の温かさを教えて頂きいっぺりにふえーでーびる、です！久米島は私の第2の故郷。一旦島を離れますがエイサーを踊りに戻りたいと思います！これからも離島留学生達への温かいご支援、よろしくお願致します。(内村未来)

じんぶん館ブログ「離島留学生の日々」が魅力化HPにてリニューアル！是非こちらも読んでください。→ ※今月は卒業特別編としてハウスマスターがお届けしました。来月は拓登記者がお届けします！



久米島高校 魅力化プロジェクト

農業委員会だより

農業委員会総会（許認可業務の審議会）が開催されました。町農業委員会では、2月25日仲里庁舎において、令和元年度第11回農業委員会総会を開催し、申請のありました案件を審議しました。

- ① 農地法第3条の規定による許可申請 → 5件 審議の結果許可されました。
- ② 農用地利用集積計画（案）に係る意見決定について → 1件 審議の結果許可されました。
- ③ 農用地利用配分計画（案）に係る意見決定について → 3件 審議の結果許可されました。

許可申請書及び届出書等の申請締め切り日 → 4月15日（水）
令和2年度第1回（4月）農業委員会総会の開催日 → 4月27日（月）

— 全国農業新聞を購読してみませんか —



全国農業新聞とは

全国農業新聞は農業者の公的機関である農業委員会組織が発行する農業総合専門紙です。「週刊」の時間を生かし、情報がわかりやすいよう解說的にまとめられています。また、多くの読者に満足してもらえるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴のある明るい話題や地域独自のイベント情報なども掲載されています。

お問合せ 久米島町農業委員会 ☎985-7134

久米島勤務を振り返って 生活習慣病予防の取り組み

内科医 上原 盛幸

久米島町は、糖尿病等の生活習慣病や肥満が蔓延し20年後の日本の人口構成を反映していると言われていました。2017年より3年間、琉球大学、久米島町、久米島病院、各種企業の連携でデジタルデバイス(スマートフォン、アプリ)やAIを活用した生活習慣病の予防・改善に関する取り組みを実施しました。私は、2018年から2年間久米島病院で勤務させて頂きました。

この研究ではヘルスリテラシーの重要性を改めて実感しました。ヘルスリテラシーとは、健康に役立つ情報を自分で選び活用する力のことです。今回参加者の皆様にスマートフォン(アプリ)を貸出し、普段の食事・運動・睡眠等の情報を入力すると各人に適した健康アドバイスがメールで配信されるといいう仕組みで取り組みを行いました。現時点で

分かっている結果の一つとして、このシステムを積極的に利用された方々(ヘルスリテラシーが高い方々)で体重減量効果や糖尿病データが改善しました。健康への第一歩は正しい情報を知ることですが、久米島はその情報に触れる機会がやや少ないように感じます。病院や役場とも協力した環境づくりが重要になってきています。

今回の研究で、生活習慣病予防に影響するアドバイス生成システムを作ることができました。今後は、システムが有効となる対象者の割り出しやシステムの改善を繰り返し、いずれは皆様に広く利用できる健康サービスを、役場と協力し発信することができたらと考えています。

この2年間は皆様の協力に支えられ、久米島の魅力を感じる日々を過ごせました。住民の皆様、病棟スタッフの方々、役場の方々に初めとした全ての方々に、本当にありがとうございました。

「久米島は小児糖尿病の発症率が全国の30倍!」
子ども健診を開始して驚いた事が、毎年5〜15%の子どもたちが糖尿病予備群(イン



「久米島は小児糖尿病の発症率が全国の30倍!」
子ども健診を開始して驚いた事が、毎年5〜15%の子どもたちが糖尿病予備群(イン

久米島子ども健康プロジェクト 小児の糖尿病予備群を減らす

小児科 渡邊 幸

久米島町では平成22年度より小学校5年生〜高校3年生までに生活習慣病健診(血液検査、血圧、腹囲測定など)である「子ども健診」を開始。その後、平成24年より町と学校・医療・地域とで協力して小児生活習慣病対策を行う「久米島子ども健康プロジェクト」を発起し、子どもの生活習慣病予防のための色々な取り組みを行なっています。

「久米島は小児糖尿病の発症率が全国の30倍!」
子ども健診を開始して驚いた事が、毎年5〜15%の子どもたちが糖尿病予備群(イン

スリン抵抗性)の異常を認めると言う事です。糖尿病予備群に入るのは肥満の子供が多いですが、そうでない子もいます。運動不足で甘いお菓子やジュースが好きなお子に多いようです。

そのような子どもたちには栄養指導や健康指導を行うことで改善が見られることも多く、糖尿病予備群の子どもの人数は年々少しずつ減少してきています。

しかし、残念ながら改善が見られずに中学生や高校生で小児2型糖尿病を発症するケースもあります。これを10万人あたりの発症率に換算すると久米島の小児2型糖尿病発症率は90人/10万人となり、全国の2.5〜3人/10万人の発症率と比べると、なんと30倍の発症率になります。

「どうして糖尿病になるの?ならないためにどうしたらいいの?」
小児の2型糖尿病の原因は、遺伝(体質)と日々の生活習慣です。運動不足+食べ過ぎにより内臓脂肪が増加することで、膵臓から出るインスリンが効きにくくなり(インスリン抵抗性)、そこにインスリン分泌低下も加わって発症します。

子ども健診で空腹時インスリン値が15μg/dl以上である人、首や脇の下、股の近くの皮膚が黒くなる「黒色表皮種」をきたしている人は「インスリン抵抗性が高い」と言え、生活改善が必要です。また、両親や親戚に2型糖尿病の人がいる人は糖尿病になりやすい体質を持っているので、以下の生活習慣に気をつけましょう。

「生活改善ポイント」
ポイント「3食しっかり食べる事、夜更かししない事、野菜から食べる事、間食しない事、歩く事」です。現代の子供たちの多くはジュースや甘いお菓子・アイスなどを摂り過ぎて「糖分」を取り過ぎています。その上、「歩かない」「夜更かし」などの生活習慣がインスリン抵抗性増大に拍車をかけます。

「飲み物はお茶。学校は歩いて行く。スマホは21時に切る」
今日からできることを始めてみませんか。

目指せ!健康あいらんど久米島

早寝、早起き、朝ごはん子どもたちの健康を守ろう!



久米島町の9割を超える大人に生活習慣病を示す健診結果に何らかの異常があることを以前お伝えしましたが、子供たちの健康はどうでしょう。令和元年度の久米島町の小学校1年生から高校3年生までの子どもたちの体格を全国平均と比べると、身長は全国平均並みか、やや低めですが、体重は全体的に重いという結果でした。

身長は学年によって全国平均よりやや低く、特に小学5年生男子で-1.3cm、小学5年女子で-3.3cm、高校2年男子で-1.2cm低くなっていました。体重については、ほとんどの学年で全国平均を超えており、全体的に男子より女子の肥満が多くなっています。特に中学2年生男子は+4.1kg、中学2年女子は+4.9kg、高校2年女子は+2.1kg平均より重いという結果で、小中高校生の11.5~15%は肥満、高校生の15%は痩せとなっています。

血液検査を実施した小学5年生の26%、中学1年生の17%、高校1年生の11%の子どもたちにLDLコレステロール値の異常がでており、小学5年生の30%、中学1年生の35.9%はインスリン値が異常に高くなっていました。将来糖尿病になりやすい糖代謝に異常があった子どもたちは小学校5年生で45.2%、中学1年生で56.3%いるという結果でした。

体力・運動能力低下の原因

- ① 授業外の運動時間の減少
- ② スマートフォンなどのスクリーンを見ている時間の増加
- ③ 小学生、中学生の肥満の増加

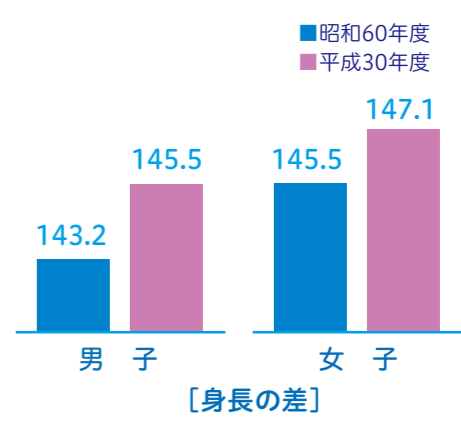


成長期の子どもたちは体をつくるたんぱく質、体の調子を整える野菜を毎食食べること、十分な睡眠や運動が大切です。カップ麺や菓子パンを食事代わりにしたり、揚げ物、お菓子を食べすぎたりしていないか、今一度ご家庭で確認してみましょう。

今の子どもは生活が豊かになり、栄養のある食べ物がたくさん食べられるようになったことなどから、親の世代より身長が高く、すらっとしたモデル体型になってきています。しかし、昔に比べて生活が便利になり、歩いたり、体を動かしたりすることが少なくなったことで筋力が減るなど、体力・身体能力の低下が深刻です。

今の11才と35年前の11才の体格、運動能力を見てみよう!

	男子		女子	
	親の世代	今の子どもたち	親の世代	今の子どもたち
身長(cm)	143.2	145.5(↑2.3)	145.5	147.1(↑1.6)
体重(kg)	38	36.5	37.8	38.9
50m走(秒)	8.8	8.8	9	9.1(0.1遅い)
ソフトボール投げ(m)	34	27.9(↓6.1)	20.5	16.8(↓3.7)



※親の世代は昭和60年度の11歳、今の子どもは平成30年度の11歳。(小数点第2位以下四捨五入)

文部科学省が令和元年12月23日に発表した平成30年度の「体力・運動能力テスト」の平均点は過去最低を記録しました。体力・運動能力は、スポーツをする子どもだけではなく、怪我の予防や将来の健康保持など、子供たち自身の身を守るうえでとても大切なものです。小学生の8割が「運動は好き」と答えていますが、年齢をかさねるごとに低下する傾向にあります。スポーツ庁では、上図の3つが体力・運動能力低下の原因と説明しています。

本町の子どもたちの健診結果を改善するために必要なことは栄養・運動・睡眠のバランスを整えることです。早寝、早起き、朝ごはんをしっかり生活リズムを整え、3度の食事で栄養バランスの良い食事をとり、日中はたっぷり屋外で遊んで体を動かすことが大切です。

4月から、新学期が始まりますね。次世代を担う子どもたちの健康を守ることは、社会全体の責任です。子どもたちの健康を守るために、車での送迎を辞めて、徒歩や自転車での登下校を考えてみてはいかがでしょうか。



4/1 ~ 5/6 の主な日程

Calendar table showing dates from April 1st to May 6th with various events like '区長会', '清明', '海開き祈願祭', '小中学校始業式', etc.

令和2年度の主な行事予定を紹介します。

Main calendar table for fiscal year 2020 with columns for month, date, and event content.

※都合により変更・中止になることもあります。ご了承ください。(久米島町)

相談

■無料法律相談

内容 財産、相続、金銭、賃借、契約などの法律問題

日時 4月9日(木)

場所 仲里庁舎1階会議室

※予約制とします。

当日受付も行いますが、予約の方が優先となります。

※相談時間は1人30分

※相談は無料、秘密は厳守されます。

お問合せ

総務課 ☎985-7121

お知らせ

■「久米島町出産祝品贈呈事業」の贈呈品・店舗が増えます！

内容 令和2年4月1日より現在の贈呈品に加え、布おむつ、新生児用粉ミルクも対象になり、取り扱い店舗も増えます。

贈呈品

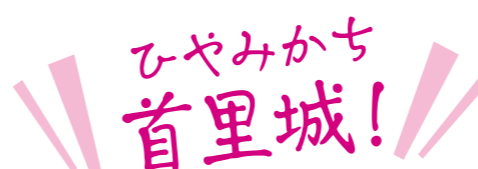
- ・新生児用紙おむつ
- ・布おむつ
- ・新生児用粉ミルク
- ・ドラッグストアモリ
- ・玉寄スーパ
- ・よぎ衣料

取扱店舗

- ・前城商店

お問合せ

町民課 ☎985-7123



町民、関係者の皆様ご支援いただきありがとうございました

昨年10月、県の象徴的な建造物「首里城」が火災に見舞われ、正殿など各御殿や収蔵されていた貴重な文化財が焼失してしまい、多くの方が心を痛めました。久米島町は一日でも早い復興を願い、首里城再建義援金の募集し下記金額を受付、沖縄県へ贈りましたことをご報告いたします。

窓口募金 (11月6日～3月10日) 238,211円

琉球古武術保存振興会様 主催国際セミナー募金箱、会員からの義援金 310,374円

くめスポ kumeSpo

第8回久米島町長杯 第6回JAL JTAカップパークゴルフ大会

2月22日(土)久米島シーサイドパークゴルフ場にて「第8回久米島町長杯第6回JALJTAカップパークゴルフ大会」が開催されました。大会には県外からは58名、県内25名、島内70名の計153名が参加しました。当日はあいにくの天気でしたが、参加者はアール浜コースを含めた5コース(45ホール)を楽しみました。大会終了後は具志川改善センターにて交流会が行われ、島民及び参加者の交流を深めました。大会の順位は下記のとおり。



Table with 5 columns: Rank, Name, Location, Score. Men's division results.

Table with 5 columns: Rank, Name, Location, Score. Women's division results.

平日放送中 10時～11時(再17時～18時) FMくめじま 89.7MHz ラジオ広報ハイサイくめじま. Includes QR code and app information.

風の帰る森

定期便り



第47号

今月の担当
風の帰る森 事務局
上月 幸雄

施設オープン時期と児童クラブ開所について

新年度になり、風の帰る森はいよいよオープン間近となりました。それに向けスタッフ一同で準備を進めております。

▼オープン時期について

現在も銭田森林公園への進入路や施設駐車場等の工事が続いております。これが無事完了し安全を確認でき次第、オープン日程を決定します。見学等のお問合せを頂いておりますが、今しばらくお待ち下さい。

▼施設の運営管理について

今年度より久米島町から指定管理を受けた「一般社団法人久米島風の帰る森」が、施設の運営管理及び関連する事業を行います。年間を通して島内外の子どもたちが出会いのびのびと遊ぶことができる場所を作ること、そして百年先の子どもたちにも久米島の豊かな自然と文化を手渡すことを大切に、運営していきます。

▼施設の用途について

宿泊、飲食（物販含む）、図書室、児童クラブ（入会者のみ）が主な用途となります。児童クラブ以外は一般の方にもご利用いただけます。



△風の帰る森施設

【問合せ】風の帰る森児童クラブ
kazemorikakudou@gmail.com
080-6498-2574

利用方法については、後日ホームページやSNS、広報誌等に掲載予定です。

▼風の帰る森児童クラブ
4月1日、風の帰る森児童クラブが開所しました。低学年を中心に島内の小学生1年生〜6年生が放課後等の時間を児童クラブで過ごします。進入路の工事が完了するまで安全確保ができないうえ、久米島町多目的公園施設（パークゴルフ場内施設）にて開所しています。進入路の工事が完了し、風の帰る森施設へ移行する予定です。また今年度が始まりましたが児童クラブの利用申請は年度途中でも受付中です。利用に関する相談・申請等がありましたら直接児童クラブまで問合せ下さい。

【お問合せ】 プロジェクト推進課 ☎098-985-7141 一般社団法人久米島風の帰る森 kazemoristaff@gmail.com

風の帰る森はwebサイトにて進捗情報を発信しております！

URL : <http://kazenokaerumori.com>



@kazenokaerumori



kazenokaerumori

後世に伝えたい「久米島紬」の技法を身につけませんか？ 令和2年度後継者育成 研修生募集

【応募条件】

- ①久米島町に居住する方
- ②研修終了後は紬組合員に加入すること
- ③研修終了後、久米島町に在住し、久米島紬の制作に携われる方

【申込締切】 令和2年5月15日（金）

【面接日】 書類審査後、個別に通知

【申込場所】 久米島紬事業協同組合
(ユイマール館内)

【定員】 6名

【提出書類】

- ①久米島紬後継者育成事業研修申込書
* 紬組合に備え付けております。
- ②住民票
- ③写真1枚 (3.5×3cm)

【お問合せ先】 久米島紬事業協同組合 ☎985-8333

健康保険証が
ご利用できます

からだの痛み・悩みを

自宅で解消!

ご自宅まで往診します



＼こんな方にオススメ／

肩や腰の
痛み
なかなか
とれない方

高齢や障害、
その他の原因で
外出が
困難

75歳以上の
高齢者
からだに
障がい
のある方

治療内容 リハビリ、機能訓練、はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 久米島店

詳しくはwebを検索!

琉球治療院

検索

お気軽にお問い合わせください【営業時間 9:00~18:00】

TEL.098-985-5070

広告